

ジュニア育成推進事業

我が町から育てよう国体選手！！

東京都では多摩地区等を中心に平成25年開催の第68回国民体育大会「東京国体」に向けて平成18年度より地域におけるジュニアスポーツの普及・振興と選手の発掘・育成を図るため「ジュニア育成推進事業」を創設し、地区体育協会によりジュニア層を対象としたスポーツ教室や大会、強化練習等を実施しその成果を挙げつつあります。

福生市では、北京オリンピックで全国民が感動した「ソフトボール成年女子」の競技が実施されます。そこで我が町から国体選手を出そうとNPO法人福生市体育協会の各競技団体がジュニア選手育成事業を行っています。小学生・中学生・高校生の皆さん奮って参加しましょう。

平成20年度ジュニア育成推進事業内容

■ ジュニア育成推進事業実施団体

少年軟式野球連盟 ソフトボール連盟 空手道連盟 バレーボール連盟 卓球連盟 サッカー連盟 柔道連盟

■ ジュニア層を対象とした競技事業

少年軟式野球連盟、ソフトボール連盟、空手道連盟、バレーボール連盟、卓球連盟、サッカー連盟、柔道連盟の7団体はスポーツ教室、スポーツ大会、強化練習、合宿等を実施しました。

各団体とも諸事業を実施することによって、指導者及び選手の成長効果が得られました。

■ ネットワークの構築・活用事業

1. 指導者連絡会

- ・平成20年11月15日(土)
- ・平成21年1月24日(土)

異種競技指導者との情報交換を行ったことで、競技毎の指導方法に違いがあり指導者として刺激となり、今後の取り組みで指導方法及び指導体制等で良い影響が出ると期待されます。

2. 種目間交流

- ・平成21年1月18日(日)
- ・交流チーム 9チーム参加

各団体とも日程に厳しいことから、今回は駅伝大会で交流を図ることで実施しました。

3. 保護者等啓発

- ・平成21年1月25日(日)
- ・「水分と栄養の補給」
- ・参加者 104名

講師：中元寺 裕子氏(大塚製薬学術担当 管理栄養士)

ジュニア育成は競技力向上はもとより体力の向上もはかる必要があり、そのために「スポーツ活動中の水分補給と栄養補給」が大切となることからこの講演を実施しました。

参加者の大半が指導者や保護者であり、指導者としてスポーツ活動中の水分補給のタイミング、また親御さんの食事の与え方に良い影響がでることが期待されます。



指導者連絡会



「水分と栄養の補給」の講演

